

KOKO農園

生まれも育ちも富士宮。まさか地元富士宮で有機農家になるとは、夢にも思っていませんでした。

農業をしていると、よくかけられる言葉があります。「若いのに偉いね！」この言葉に私は違和感を抱きます。

昔は、どこの家も農家で、生活の一部に農業はありました。

農業は職業選択の一つ。そう気づいたのは、私自身、大人になってからです。農業という職業の出会い、私が24歳の時でした。非農家出身の私は大学を卒業後、東京にあるIT系の会社に就職しました。同じことが繰り返される多忙な日々。会社に向かう朝、満員電車



畑からは富士山がよく見える

から降

り、同じ方向に向かう人の波を見て

その中に自分もいて、何か



鹿児島で平飼い養鶏

にのまれていくような恐怖を感じました。ここから抜け出した。それは自分の生き方を見直す時でした。

「世間体や常識、自分に覆いかぶさっていた、しがらみを取り去ってシンプル生きたい」

「生きるために必要な食を生み出す、働く原点とも言える農業の世界を見てみたい」と思い立ち、勤めていた会社を退職し、農業の世界へ足を踏み入れます。

北海道で酪農。鹿児島で平飼い養鶏と有機農業。

住み込みで働き、そこで見たものは農業の現実、抱えている問題でした。家畜は、もはや動物として扱われない悪環境で製品として増産されていること。

生み出された食べ物の半数は先進国では飽食状態であり、無駄

に捨てられていること。

たくさんのお食糧を生産するために、環境は破壊され、また人体によくないものまで投与していること。人は、自然や動物に危害を加えるだけではとどまらず、人自身にも、猛威をふるっていました。

農業の抱えている問題を解決してくれるのは鹿児島で出会った有機農業でした。植物、動物、人が共存した、ギブアンドテイクの世界。これが本来、人のすべき姿だと感銘を受け、農業をしようと決意しました。

その後、地元富士宮にたくさん有機農家があることを知り、先輩有機農家での1年の研修を終え、2014年4月、富士宮市下条で念願の農家になりました。

農家としての生活はまだ始まったばかりでうまく行かないこともたくさん。だけど農業って、本当に楽しい！同じ日は1日もありません。農業が素敵な職業であることを、たくさんの方々に知ってほしい！いえ若者だけではなく、どこの誰でも当たり前前に農業をする日が来ることを



KOKO農園 清 久美子

就農:平成26年4月
畑の場所:富士宮市 下条
栽培面積:畑42a 栽培作物数:60種類
主力作物:露地野菜、穀類、ハーブなど
連絡先:ameblo.jp/kokonouen/



畑で作業

夢見て。今日も太陽の下、土に心洗われ、自然に感謝し、日々精進です。
(2015年4月記)